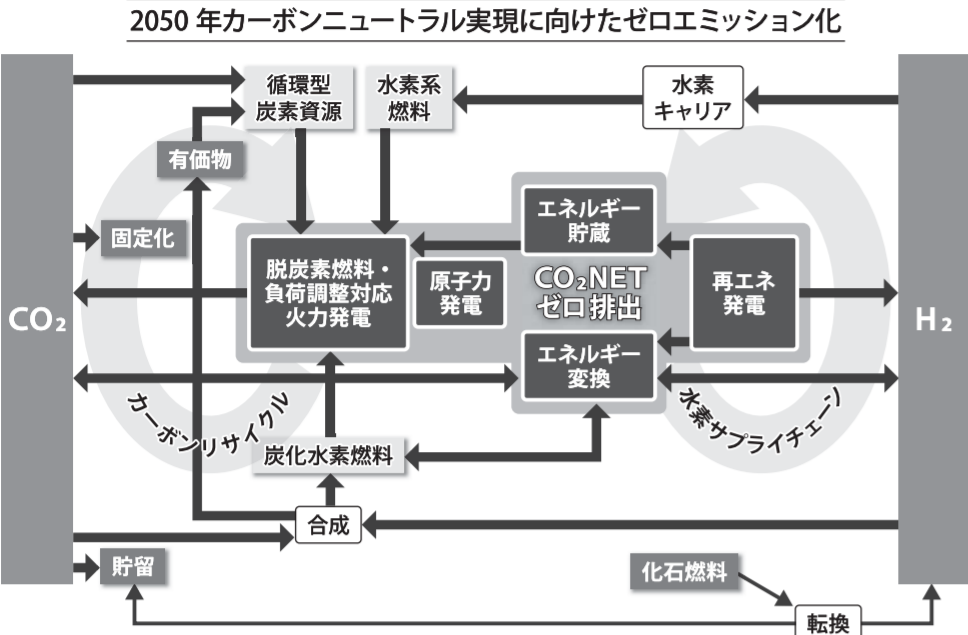


電力中央研究所

研究本部長インタビュー

“変化”に対応 3本部新設

電力中央研究所は、今年7月に組織改編を実施した。研究系部署のうち1センター7研究所を再編・統合することにより「エネルギー変換研究本部」「グリッドイノベーション研究本部」「サステナブルシステム研究本部」を新設した。新たな体制の下で2050年カーボンニュートラル実現など事業環境の変化に対応していく。この特集では各本部長のインタビューにより、3研究本部の役割や活動内容について紹介する。



「脱炭素社会の実現は、電力事業者の責務である。電力事業者は、社会の発展を支え、脱炭素化に貢献していく。」と語る研究本部の役割について、本部長のインタビューが紹介されている。

エネルギー変換研究本部

「脱炭素社会の実現に向けたエネルギー変換研究本部の役割は、再生エネルギーの変換効率の向上と、エネルギー貯蔵技術の開発にある。」と語る本部長のインタビューが紹介されている。



本部長 常務理事 植田 伸幸氏

知見生かし電気事業のE×X実現へ

「E×X研究本部の研究対象の一つである再生エネルギーと火力発電は現在厳しい状況に置かれている面もあるが、エネルギーセキュリティの確保と安価なエネルギー供給のために当面有効活用していく必要がある。」と語る本部長のインタビューが紹介されている。

「電力発電所などからの二酸化炭素(CO2)排出に制約がある中、ゼロエミッションの電力を実現するために、燃料製造、燃焼方法の両面から研究を進めている。」と語る本部長のインタビューが紹介されている。

グリッドイノベーション研究本部

「グリッドイノベーション研究本部は、主に電力工学、情報通信工学の基礎研究を有する。電力流通分野の研究において、現物を利用した実験から理論的な検証、デジタルシミュレーションまでを網羅的に実施できる。」と語る本部長のインタビューが紹介されている。



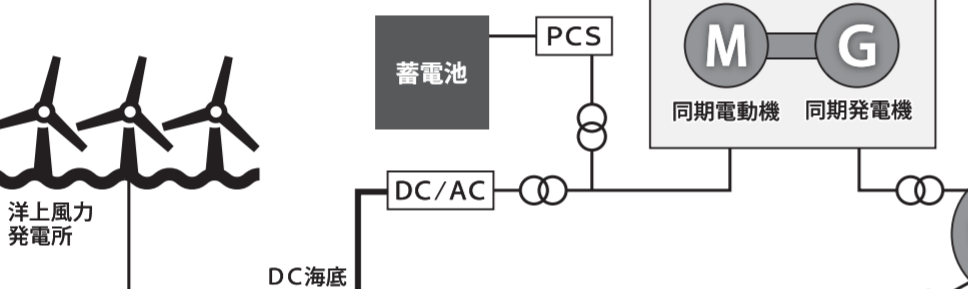
本部長 常務理事 美濃 由明氏

再エネ増と安定供給の両立追求

「再生可能エネルギーの導入拡大と電力系統の安定供給の両立を図ることが重要である。」と語る本部長のインタビューが紹介されている。

「RSDD構想と呼ばれる研究に力を入れたい。」と語る本部長のインタビューが紹介されている。

大容量洋上風力発電所に蓄電池とM-Gセットを設置する例



「再生可能エネルギーの増大に伴い、電力系統の安定供給が求められる。」と語る本部長のインタビューが紹介されている。

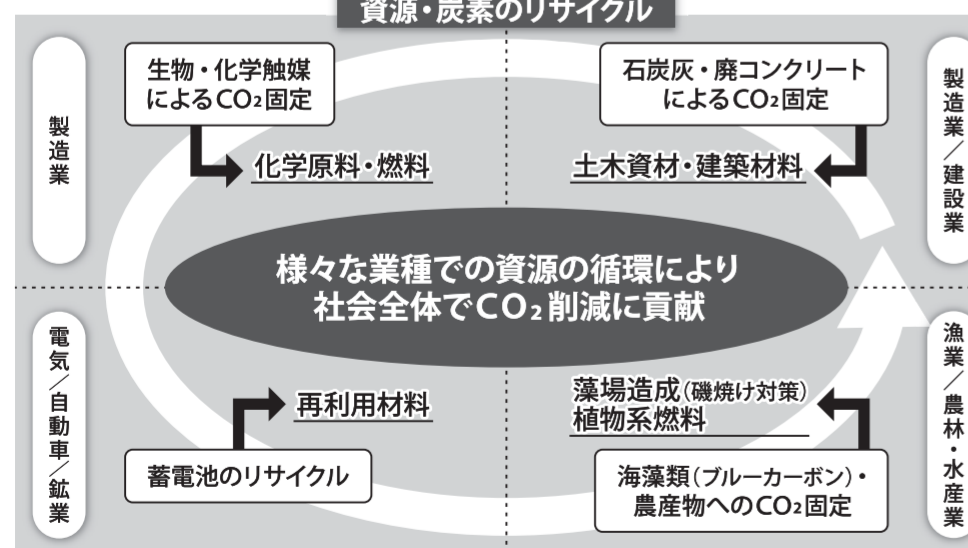
サステナブルシステム研究本部

「サステナブルシステム研究本部は、資源循環、環境対策、社会課題の解決に取り組む。」と語る本部長のインタビューが紹介されている。



本部長 常務理事 金谷 守氏

資源循環・カーボンリサイクルへの取り組み



「資源循環の促進は、脱炭素社会の実現に不可欠である。」と語る本部長のインタビューが紹介されている。

災害激甚化で「強靱化」対策に注力

「強靱化対策は、災害からの回復力を高めることに貢献する。」と語る本部長のインタビューが紹介されている。

「災害に対するレジリエントな電力システム構築に関する研究として、近年、台風による送電設備の大きな被害を受け、自然災害時の電力供給の確保が重要となっている。」と語る本部長のインタビューが紹介されている。